

授業科目	子どもと言葉（3年制コース）					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	阿南 寿美子						
授業概要	言葉のもつ意義と機能を理解し、言葉遊びなどを通して言葉に対する感覚を豊かにする実践を幼児の発達の姿と合わせて考察する。また、絵本・物語・紙芝居等々の児童文化材を使用しながら想像する楽しさを導き出せる方法を学ぶ。						
授業形態	対面授業			授業方法	各要領・指針に基づいて講義を行います。		

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 幼児を対象として幼児が豊かな言葉や表現を身につけることのできる指導法を習得する。 2. 想像する楽しさを広げるための言葉指導を習得する。 3. 専門的事項に関する知識を身につける。 4. 保育者として幼児の日常のやりとりや表現を捉え、よりよい言葉の指導ができるようになる。
理想的レベル	多様な子どもに対して、その場に応じた的確な言葉の指導ができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	50%	コミュニケーションシート、授業内に示す課題
その他	20%	授業への参加度等

## カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	CH11305J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
各要領・指針およびその解説を確認する。 また、授業内容についてノートをまとめる。								4	

## 授業計画

第1回	オリエンテーション 各要領・指針における領域「言葉」のねらいや内容について理解する。
第2回	乳児期の言葉の発達と保育者の援助① 事例を通して乳児期の言葉の発達について理解する。
第3回	乳児期の言葉の発達と保育者の援助② 子ども同士のかかわりにおける言葉の発達について理解する。 ※小テスト
第4回	乳児期の言葉の発達と保育者の援助① 事例を通して、乳児期の言葉の発達について理解する。

第5回	乳児期の言葉の発達と保育者の援助② 子ども同士のかかわりにおける言葉の発達について理解する。 ※小テスト
第6回	言葉遊びと幼児の言葉の発達の関連性について 児童文化財と乳幼児の言葉の発達についての関連性を考察する ※小テスト
第7回	言葉の発達を促す環境構成 想像する楽しさを味わう実践について理解する。
第8回	まとめ 本講義で学習した内容について振り返り、今後の実践につなげられるようにする。
テキスト	必要に応じてプリント等々配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じてプリントを配布する。 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 保育所保育指針
課題に対するフィードバックの方法	授業開始時にコミュニケーションシートを用いて振り返りを行います。
学生へのメッセージ・コメント	講義中理解できなかったところは、必ず、直接あるいはコミュニケーションシートを用いて質問してください。 授業への積極的姿勢など総合点によって成績をつけます。